

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原中学校	校長	井上 一男	生徒指導主事	坂本 篤宏
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『栗原が好きで、栗原中学校に愛着と誇りを持てる生徒の育成』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
関わる力	1	表現する力	2	挑戦・やり抜く力	3


取組のねらい

生徒会活動を通して、学校生活の充実を図るための課題を自ら考え、生徒同士で協力して自主的、実践的に取り組ませることで、自己指導能力の育成を図るとともに、栗原中学校に愛着と誇りを持つ生徒の育成につなげたい。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 キーワード『自主的、実践的に活動できる場』
----------	----------------------------------

(1) 主体的な生徒会活動の計画や運営

生徒会定例会を定期的に行い、委員会の活動内容や生徒会から提案事項について、生徒と教員が協議する。



学校生活をよりよくするための取組について生徒と教員が協議し、自発的・自治的に取り組む活動を充実させる。

提案内容	実践のポイント
体育館開放（昼休憩）	生徒が主体的に体育館利用のルールづくりを行い、安全に活動させる。
地域貢献活動	自分たちにできることを実践し、地域に貢献しようとする意欲を高める。
委員会紹介ビデオ作成	学校全体に委員会の取組内容を周知するとともに、小学校への出前授業等で小学生に中学校の様子を伝える。
音楽リクエスト	黙食が続く中、少しでも昼食の時間を楽しくするために実施。
生徒によるHPの作成	生徒目線で学校の様子を保護者や地域に発信する。（広報委員会）

【体育館開放日の様子】




【地域貢献活動の様子】



(2) ボランティア活動の推進


部長会で提案し、部活動の一環として、学校全体の取り組みとする。



学校の学習環境をよりよくする活動を通して、生徒の自己有用感の醸成を図る。

第1回 清掃ボランティア	参加人数（延べ人数） 1 2 3 人
第2回 花植ボランティア	
第3回 教室整備	
第4回 花植ボランティア	

【ボランティア活動の様子】



取組の成果と課題

○生徒会執行部と教員による定例会を定期的の実施し、生徒からの提案を実践するためのルールを生徒に考えさせたり、呼びかけの方法を考えさせたりするなど、自主的・実践的に活動できる場を工夫した。アンケートの結果において、自己指導能力と愛校心に関する肯定的な回答が5p以上向上しており、生徒会活動や日々の教育活動の取組がアンケートの結果にあらわれたと考えている。

●自己有用感に関する肯定的な回答が、他の項目と比較し数値が低く、生徒会活動やボランティア活動等が全生徒の取組につながっていないことが考えられる。今後は、生徒全員が参加できる活動を工夫し、集団への所属感や連帯感を深めさせ、自己有用感の向上を図ることが必要である。

生徒アンケート（自己指導能力・愛校心・自己有用感にかかわる項目）2学期末実施	令和3年度	令和4年度	前年比
○自分たちの力で決まりを守り、活動しています。（自己指導能力）	80.8%	88.5%	7.7%↑
○落ち着いた学校生活を送ることができています。（自己指導能力）	74.9%	80.1%	5.2%↑
○自分の学校には自慢できることがあります。（愛校心）	66.9%	72.2%	5.3%↑
●クラスやクラブで役に立っていると感ずることがあります。（自己有用感）	64.2%	65.0%	0.8%↑